

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

事業番号	①
1. 個別事業名	女性活躍推進会議運営事業
2. 実施期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日
3. 総事業費	67,724円
4. 事業内容	(1)鹿児島県女性活躍推進会議の運営 働く場における女性の活躍を推進するためには、事業所の取組が不可欠であることから、経済団体や行政等が連携する県女性活躍推進会議の協議・活動を通じて県内の女性活躍の取組を促進を図った。 令和2年度は、令和元年度事業効果の評価・検証を行うとともに、令和2年度の支援策及び女性の活躍推進に関する協議を行った。また、事業番号②(3)女性活躍推進優良企業表彰候補企業を選考した。 【開催内容】(R2.11.26) ・鹿児島県の女性活躍推進に向けた取組等の説明 ・女性ワーキンググループの活動報告 ・令和2年度県女性活躍推進優良企業知事表彰候補企業を選考
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 経済団体や行政等の多様な主体で構成する県女性活躍推進会議において、県内企業の女性活躍の取組状況等について情報を共有するとともに、意見交換を行い、事業に反映した。
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法
	・交付金事業間連携、他施策との連携 (交付金事業間連携) ・前年度事業の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について同会議にて情報を共有し、意見交換を行った。 ・事業番号②, ③, ④の各事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と連携し、構成団体を通じた事業の周知、参加促進を図った。 ・事業番号②(3)県女性活躍推進優良企業の表彰については、構成団体を通じて幅広く募集を行うとともに、表彰候補企業を選考を行った。
5. 事業効果及び効果検証の概要	経済団体や大学等の多様な主体で構成する県女性活躍推進会議において協議された、企業や働く女性の立場からの意見を事業に反映させることにより、地域の実情に応じた取組の効果的な推進が図られた。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	鹿児島県女性活躍推進宣言企業制度登録数は、目標100社に対し、91社の登録となり、目標を達成することができなかった。 宣言企業の周知広報については、手段と広報内容を再検討する必要がある。
7. 今後の課題	当県においては、鹿児島県女性活躍推進計画に基づき、女性の活躍推進に向けた取組を進めているところであるが、未だに男性中心型労働慣行等の企業風土は根強く、女性の活躍推進のためには、経営者及び管理職の意識改革が重要であり、今後とも、県女性活躍推進会議や女性ワーキンググループ等と連携して、女性活躍の必要性についてのPRや企業へのより一層の働きかけを行う必要がある。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

事業番号	②
1. 個別事業名	女性が活躍できる企業応援事業
2. 実施期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日
3. 総事業費	5,485,579円
4. 事業内容	<p>(1)女性活躍推進フォーラム 男性中心型労働慣行等の職場環境・企業風土を改善し、女性活躍を推進するためには、企業トップが先頭に立って、女性の活躍推進、働き方改革を進めることが必要であることから、企業トップ等の意識改革を図るためのフォーラムを実施した。 日時:R3.1.14 場所:ホテルウエルビューかごしま 参加者:94名 ①県女性活躍推進優良企業知事表彰(医療法人クオラ, 福地建設株式会社, 明治安田生命保険相互会社鹿児島支社) ②表彰企業事例発表 ③講演「Withコロナ時代に考える女性活躍～これからの人材と働き方～」 講師 池田心豪氏(独立行政法人労働政策研究・研修機構主任研究員)</p> <p>(2)女性活躍推進アドバイザー派遣 経済団体や企業等が開催する定例会等に、女性活躍推進のアドバイザーや講師を派遣することにより、女性活躍の理解促進、取組の拡大を図った。 【アドバイザー】 ・藤原千晶氏(株式会社ワークライフシナジー研究所代表取締役) ・高崎恵氏(オフィスピュア ワークショップデザイナー) ・吉永亜矢氏(社会保険労務士法人A&Sパートナーズ代表) 【派遣先】8団体 ・鹿児島県建設業協会宮之城支部(R3.1.22)23名 ・損保ジャパン地域ダイバーシティin鹿児島(R3.2.15)14名 ・薩摩川内市企業連携協議会(R3.2.25)20名 ・鹿児島県産業資源循環協会(R3.3.2)9名 ・枕崎青年会議所(R3.3.17)14名 ・城山グループ(R3.3.25)30名 ・鹿児島県商工会連合会女性部(R3.3.25)200名 ・鹿児島県漁業協同組合連合会(R3.3.25)5名</p> <p>(3)女性活躍推進優良企業の表彰 女性の登用や継続就業など、女性活躍推進に積極的に取り組む企業を表彰し、その事例を広く情報発信することで、女性活躍推進に取り組む県内企業の取組の促進を図った。 また、優良事例を広く情報発信するため、女性活躍推進フォーラムにて事例発表するとともに、ガイドブックと取組事例集を作成し、県女性活躍推進会議構成団体を通じて、各企業や市町村、教育機関、ハローワーク等に配布し、県内全体への取組拡大を図った。</p> <p>(4)男性の育児・介護休業取得促進事業 男性の育児・介護参画を含め、誰もがワークライフバランスを実現することができる職場づくりを促進するための研修を、職場の管理職等を対象に開催した。 日時:①理論編 R3.1.26②実践編 R3.2.16 場所:サンプラザ天文館 参加者:延べ29名 ①講義「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」 講師 渥美由喜氏(厚労省政策評価に関する有識者会議委員) 事例発表「多様な人材が自分の力を発揮し、成功発展する企業へ」 事例発表者 税田和久氏((株)グローバルクリーン代表取締役社長) グループトーク, トークセッション, 講師コメント ②合同コンサルティング</p>

	<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</p>	<p>各事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と連携し、構成団体を通じた事業の周知、参加促進を図った。 事業の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について県女性活躍推進会議において情報を共有し、今後の取組に反映する。</p>
	<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p>	<p>県内全域の企業に参加していただくため、各市町村を通じて、各事業の周知を図った。 また、女性活躍推進アドバイザー派遣については、市町村の意向なども踏まえ実施し、市町村の関連事業との連携を図った。</p>
	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p>	<p>〈交付金事業間連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業番号③の女性向けに実施する事業と併せて、本事業の広報及び参加促進を図った。1つの企業からトップ・管理職・女性社員が参加するよう働きかけを行ったことで、企業内の気運醸成につながった。 ・女性活躍推進交付金事業を実施する薩摩川内市、始良市、志布志市に対して、本事業の周知・広報の協力を依頼するなど、連携して事業を実施した。 <p>〈他政策との連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県雇用労政課が実施するかごしま「働き方改革」推進事業の参加者に対して、本事業の周知・広報等を行い、女性の活躍推進に関する取組の拡大を図った。 ・鹿児島市が実施する女性活躍推進事業と連携して、本事業の周知・広報等を行った。
<p>5. 事業効果及び効果検証の概要</p>	<p>多様な人材の確保による新たな価値創造など女性活躍推進で得られる企業経営上のプラス効果の観点から講演いただくことにより、県内事業の経営者や管理職等に広く女性活躍推進についての理解を深めていただくことができた。 【女性活躍推進フォーラム】満足、やや満足と回答した割合 知事表彰・事例発表:94% 講演:94%</p>	
<p>6. 目標達成度及び達成状況に対する評価</p>	<p>鹿児島県女性活躍推進宣言企業制度登録数は、目標100社に対し、91社の登録となり、目標を達成することができなかった。 また、4(4)の事業の研修参加者数についても、目標50名に対して、29名の参加となり、目標を達成することができなかった。 宣言企業やセミナーの周知広報については、より多くの企業に興味を持ってもらうよう手段と開催内容を再検討する必要がある。</p>	
<p>7. 今後の課題</p>	<p>当県においては、鹿児島県女性活躍推進計画に基づき、女性の活躍推進に向けた取組を進めているところであるが、未だに男性中心型労働慣行等の企業風土は根強く、女性の活躍推進のためには、経営者及び管理職の意識改革が重要であり、今後とも、県女性活躍推進会議や女性ワーキンググループ等と連携して、女性活躍の必要性についてのPRや企業へのより一層の働きかけを行う必要がある。</p>	

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

事業番号	③
1. 個別事業名	女性のキャリアアップ支援事業
2. 実施期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日
3. 総事業費	2,709,297円
4. 事業内容	<p>(1)県女性活躍推進会議女性ワーキンググループによる協議 県女性活躍推進会議に設置している女性ワーキンググループにおいて、協議、意見交換を行い、女性活躍推進事業に反映させた。 日時 R2.11.11 ・職場におけるジェンダーギャップ、アンコンシャスバイアスについての意見交換 ・「女性活躍推進」の意義の確認</p> <p>(2)女性のキャリアアップセミナー(対象:管理職又は管理職を目指す女性) 女性が管理職として働く上で必要なマネジメント力を習得することを目指して、専門家による講義や意見交換等を実施した。なお、参加者のネットワーク形成を図るため、3回連続の講座とした。 【セミナー名】「わたし×働くのこれからをデザインする3Days vol.4(2021キャリアアップ編)」 会場:かごしま県民交流センター 1日目 「ピア・ダイアログ」 日時:R3.1.30 参加者:16名 2日目 「わたしたちの課題から学ぶこれからのマネジメント」 日時:R3.2.6 参加者:23名 3日目 「日常の中のジェンダーギャップ」 日時:R3.2.14 参加者:72名</p> <p>(3)キャリアデザインセミナー(対象:働き又は働こうとする女性) 女性が働き続けることを目指して、専門的な講師のほか女性の先輩社員などをパネリストに迎え、意見交換等を実施した。なお、参加者のネットワーク形成を図るため、3回連続の講座とした。 【セミナー名】「わたし×働くのこれからをデザインする3Days vol.4(2021キャリアデザイン編)」 共催・会場:マルヤガーデンズ 1日目 「日常の中のジェンダーギャップ」 日時:R3.2.14 参加者:72名 講師:荻上チキ氏(評論家) 2日目 「アサーティブ・トレーニング～“わたし”を“わたし”の真ん中に～」 日時:R3.2.21 参加者:25名 3日目 「“わたし”のことを“わたしたち”で語る～これまでの学びを振り返るダイアログ～」 日時:R3.2.28 参加者:20名</p> <p>(4)経済団体女性組織との連携 経済団体の女性組織の定例会に県幹部の女性等を派遣し、女性活躍推進の県の現状や取組等を説明し、各企業への普及啓発等に向けた意見交換を行った。 日時 令和3年3月25日(木)9:50～11:20 場所 城山観光ホテル 派遣先 鹿児島県商工会連合会女性部 派遣者 鹿児島県男女共同参画局局長, 同男女共同参画室長</p>

	<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</p>	<p>各セミナーの実施に当たっては、県女性ワーキンググループのメンバーと連携し、構成メンバーを通じた事業の周知、参加促進を図った。 また、セミナーの実施結果、参加者の意見、今後の課題等について女性ワーキンググループや女性活躍推進会議において情報を共有し、次年度以降の取組に反映する。</p>
	<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p>	<p>県内全域の働き又は働く女性に参加していただくため、市町村を通じて各セミナーの周知、参加促進を図った。</p>
	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p>	<p>〈交付金事業間連携〉 ・事業番号②の企業トップや管理職向けに実施する事業と併せて、本事業の各種セミナーの広報及び参加促進を図った。一企業からトップ・管理職・女性社員が参加するよう働きかけを行ったことで、企業内の気運醸成につながった。 ・女性活躍推進交付金事業を実施する薩摩川内市、志布志市、始良市に対して、本事業の周知・広報の協力を依頼するなど、連携して事業を実施した。</p> <p>〈他政策との連携〉 ・県雇用労政課が実施するかごしま「働き方改革」推進事業の参加者に対して、本事業の周知・広報等を行い、女性の活躍推進に関する取組の拡大を図った。 ・鹿児島市が実施する女性活躍推進事業と連携して、本事業の周知・広報等を行った。</p>
<p>5. 事業効果及び効果検証の概要</p>	<p>それぞれのセミナーで対象を分け、よりニーズに合った内容にすることにより、幅広い世代、様々な状況にある女性にアプローチすることができた。 また、キャリアデザインセミナーについては商業施設で実施したことにより、男女共同参画センターを知らなかった新たな層へも情報を届けることができた。</p>	
<p>6. 目標達成度及び達成状況に対する評価</p>	<p>参加者の満足度は目標値80%に対して、全て90%を超えており、目標を達成することができた。 【キャリアアップセミナー】(非常に良い、良いと回答した割合) ・1日目、2日目 100.0% ・3日目 90% 【キャリアデザインセミナー】(満足、やや満足と回答した割合) ・100% 鹿児島県女性活躍推進宣言企業制度登録数は、目標100社に対し、91社の登録となり、目標を達成することができなかった。 宣言企業の周知広報については、手段と広報内容を再検討する必要がある。</p>	
<p>7. 今後の課題</p>	<p>働く女性の中には、責任が重くなることや長時間労働により仕事と家庭生活の両立が困難になることへの不安から、管理職に就くことに消極的な女性が多い状況である。 このため、女性が将来のキャリアデザインを描き、意欲を持って就業できるよう、意識の向上やキャリアアップのための能力開発の支援を行う必要がある。 併せて、ロールモデルの提示や交流の機会を提供するとともに、女性のネットワークづくりを促進する必要がある。</p>	

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

事業番号	④		
1. 個別事業名	どんどん鹿児島女性の活躍応援事業		
2. 実施期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日		
3. 総事業費	2,812,885 円		
4. 事業内容	<p>(1)県内中小企業への専門家派遣 女性の活躍推進に取り組む県内中小企業に社会保険労務士等の専門家を派遣し、社内の意識改革のための研修を実施するほか、一般事業主行動計画の策定や制度の改善業務等を支援した。</p> <p>【対象】常時雇用する労働者の数が300人以下の事業主</p> <p>【専門家】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤原千晶氏(株式会社ワークライフシナジー研究所代表取締役) ・高崎恵氏(オフィスピュア ワークショップデザイナー) ・吉永亜矢氏(社会保険労務士法人A&Sパートナーズ代表) <p>【派遣数】延べ15社</p> <p>①女性活躍推進のための社内研修:10社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本郵便株式会社鹿児島県奄美地区連絡会(R3.1.19)22名 ・京セラ国分工場(R3.2.18)126名 ・鹿児島市社会福祉協議会(R3.2.19)19名 ・株式会社ナンチク(R3.2.25)10名 ・株式会社プロゴワス(R3.2.25)10名 ・株式会社モリナガ(R3.3.1)33名 ・佐川急便株式会社 出水営業所(R3.3.8)19名 ・鹿児島空港ビルディング株式会社(R3.3.9)6名 ・株式会社クオリティホーム(R3.3.9)4名 ・株式会社FM鹿児島(R3.3.10)6名 <p>②事業主行動計画の策定:5社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社クオリティホーム ・株式会社モリナガ ・株式会社ナンチク ・株式会社ブライダルハウス六本木 ・株式会社祁答院土木 		
	・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	<p>事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と連携し、事業の周知、参加促進を図った。</p> <p>事業の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について同会議にて情報を共有し、次年度以降の取組に反映する。</p>	
	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	<p>県内全域の企業に参加していただくため、各市町村を通じて、各事業の周知を図った。</p>	

	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p> <p>〈交付金事業間連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業番号②の企業トップや管理職向けに実施する事業と併せて、本事業の広報及び参加促進を図った。 ・女性活躍推進交付金事業を実施する薩摩川内市、志布志市、始良市に対して、本事業の周知・広報の協力を依頼するなど、連携して事業を実施した。 <p>〈他政策との連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県雇用労政課が実施するかごしま「働き方改革」推進事業の参加者に対して、本事業の周知・広報等を行い、女性の活躍推進に関する取組の拡大を図った。 ・鹿児島市が実施する女性活躍推進事業と連携して、本事業の周知・広報等を行った。
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>一般事業主行動計画の策定・届出が努力義務となっている中小企業において、女性の活躍推進への理解を深めることができた。派遣した企業については、好事例として情報発信し、県内全体への取組の拡大を図ることができた。</p>
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>一般事業主行動計画策定企業数の目標を達成した。 【行動計画策定企業数】目標:3社, 現状:5社</p>
7. 今後の課題	<p>働く女性の中には、責任が重くなることや長時間労働により仕事と家庭生活の両立が困難になることへの不安から、管理職に就くことに消極的な女性が多い状況である。このため、女性が将来のキャリアデザインを描き、意欲を持って就業できるよう、意識の向上やキャリアアップのための能力開発の支援を行う必要がある。</p> <p>併せて、ロールモデルの提示や交流の機会を提供するとともに、女性のネットワークづくりを促進する必要がある。</p>

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

事業番号	⑤
1. 個別事業名	困難を抱える女性のくらし・しごとサポート事業
2. 実施期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日
3. 総事業費	695, 118円
4. 事業内容	<p>(1)民生委員・児童委員向け研修 生活上の様々な困難を抱える女性(以下「当該女性」という。)の就労又は就労の前段階となる社会とのつながりの回復と自立を支援するため、地域住民の見守りや身近な相談対応を行う民生委員・児童委員等が、当該女性の状況や背景について理解を深め、支援スキルを向上する研修を実施した。 【対象】民生委員児童委員, 市町村職員等 【専門家】 ・藤原奈美氏(大隅くらし・しごとサポートセンター長) 【派遣回数】14回 ・肝付町民生委員児童委員協議会(10/8) ・県民生委員児童委員協議会(10/14, 15) ・枕崎市民生委員児童委員協議会(10/21) ・和泊町(職員研修)(11/9) ・和泊町民生委員児童委員協議会(11/10) ・瀬戸内町(11/15) ・宇検村社会福祉協議会(11/16) ・奄美大島男女共同参画地域推進員連絡会(11/16) ・鹿屋市(鹿屋市民生委員児童委員研修会)(12/10) ・3センター相談業務連絡会議(12/15) ・鹿児島県社会福祉事業団フェリオ鹿児島(1/15) ・末吉地区民生委員児童委員協議会(2/9) ・奄美市民生委員児童委員協議会連合会(2/12)</p> <p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 事業の実施にあたっては、県及び実施市町村の民生委員児童委員協議会に対し、事業実施の背景や事業内容等について説明を行い問題意識を共有した上で、当該地域の各民生委員等への開催案内や参加促進を依頼するなど連携を図った。 また、各地域で生活困窮者相談業務の委託を受けているNPO法人や社会福祉協議会、就労支援事業所等と当該女性に対する支援の在り方等について情報共有を行った。</p> <p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 市町村の男女共同参画及び福祉所管課と事業実施の意義等を共有するため、研修の開催にあたっては、職員の研修参加を依頼するとともに、各市町村における既存の包括的支援体制との連携を図った。</p> <p>・交付金事業間連携、他施策との連携 ＜他施策との連携＞ 研修を受講した民生委員等が、当該女性を県・市の生活困窮者自立支援制度や生活保護制度、その他福祉制度等の相談窓口につなぐことから、連携を図るため、支援に携わる可能性のある幅広い関係者を受講の対象とした。 また、男女共同参画センターの相談事業との連携を図るため、男女共同参画センターや配偶者暴力相談センターの相談員等を対象とした研修も実施した。</p>

5. 事業効果及び効果検証の概要	実際に生活困窮者自立支援制度に基づく支援を行っている専門家から、現場の実情を踏まえた講演をいただくことにより、地域で相談対応にあたる民生委員児童委員等に対して、当該女性の問題やその背景、支援の必要性等について、理解促進を図ることができた。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	理解を深めた人の割合は、目標を達成した。 【理解を深めた人の割合】目標:80% 実績:85.7%
7. 今後の課題	様々な困難を抱える女性の相談・支援にあたっては、相手に寄り添って耳を傾け、時には女性の抱える複合的な困難の内容を丁寧に解きほぐす等の専門的スキルが必要となるため、具体的なケース事例を検討する内容を研修に盛り込むなど、より実践的な研修も検討する必要がある。